



# ENGLISH TEACHING & EDUCATION *for* RETURNEES

山脇学園中学校2022年度入試要項予定(※)[帰国WEB入試・帰国生入試Ⅰ期・帰国生入試Ⅱ期・英語入試のみ抜粋]  
<※2021年4月1日現在>

	帰国WEB入試	帰国生入試Ⅰ期	帰国生入試Ⅱ期・英語入試		
			A	B	C
募集人員	50名				
入試日	10月	11/27(土) 午後	2/1(火) 午前	2/2(水) 午後	2/4(金) 午前
出願資格	次の①～③のすべてを満たす方 ①2009年4月2日～2010年4月1日生まれの子 ②海外に1年以上在住し、海外の学校に1年以上在学した方、かつ出願時に原則として帰国後3年以内の方 ③2022年3月に小学校卒業見込みの方・または2022年3月までに帰国する方		帰国生入試：同左 英語入試：2022年3月小学校卒業見込みの女子		
試験科目等	英検準2級相当以上の合格証コピー+課題※ ※2021年度入試の場合、与えられたテーマについて英語で1分間話す	①～③から選択 ①国語・算数 ②国語+英検3級相当以上の合格証コピー+面接 ③算数+英検3級相当以上の合格証コピー+面接 ●国語・算数は各50点・各30分 ※英検は原則として2019年6月以降に取得したものとす ※面接は英語を含む	国語・算数 ●英検3級相当以上の合格証コピー提出必須(帰国生入試は任意) ●国語・算数(各100点・各50分)は一般入試と同問題 ※英検は原則として2019年6月以降に取得したものとす		

## 山脇学園の英語教育・帰国生教育



山脇学園は2021年度よりCambridge Englishスクール認定校になりました。

もっと山脇学園を知っていただくために、ぜひ学校説明会に足をお運びください

★すべての説明会で帰国生入試・英語入試をお考えの方の個別相談をお受けします。★説明会・行事の予約は、実施1か月前よりHPにて承ります。  
★詳細に関しましては、変更することもありますのでHPでご確認ください。

### ナイト説明会

※学校説明会/校内見学

5/19(水) 7/14(水)  
17:30～19:30 17:30～19:30

### オープンキャンパス

※学校説明会/校内見学/クラブ紹介など

6/19(土) 8/21(土)  
14:00～17:00 9:00～12:30

### 入試対策説明会&学校説明会

※6年生対象の入試対策説明会/学校説明会/校内見学など

10/16(土) 11/13(土) 12/18(土) 1/8(土)  
13:30～17:00 9:00～12:30 9:00～12:30 13:30～17:00

入試ホットライン

03-3568-2554



※LINE公式アカウントでは、チャットにて1対1の質問を行うことができます。

### ACCESS

●銀座線・丸の内線「赤坂見附駅」下車「出口A」徒歩5分 ●有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」下車「出口6」徒歩10分 ●都営大江戸線・銀座線・半蔵門線「青山一丁目駅」下車「出口4」徒歩7分  
●千代田線「赤坂駅」下車「出口1」徒歩7分 (または半蔵門線ホーム経由「赤坂見附駅」出口A) ●銀座線・南北線「溜池山王駅」下車「出口13」徒歩10分

学園の教育内容をご説明した「学校案内」をお送りします。HPへご請求ください。→ <https://www.yamawaki.ed.jp/>

山脇学園中学校・高等学校 〒107-8371 東京都港区赤坂4-10-36 | 中学: 03-3582-5937 | FAX.03-3585-3914  
<https://www.yamawaki.ed.jp/>

山脇学園中学校・高等学校



これまで培ってきた英語力をシームレスに接続

# 4つのグレード別英語授業

## ACADEMIC ACHIEVEMENT LESSON

帰国生・英語入試入学生の英語授業は、GⅣ・GⅢ・GⅡ・GⅠの4つのグレードで実施します。中でもGⅣ～Ⅱは下表のように帰国生・英語入試入学生のために特別なカリキュラムを作り、ネイティブの担当時間を増やしています。中学段階での英語授業は、イングリッシュアイランドステイ (EIS) と呼ばれる本校独自科目と英語の授業が一体となり、4技能を伸ばします。EISは主にイングリッシュアイランド (EI) で行います。もちろん本人の意欲と英語力によってクラスをレベルアップすることも可能。英語を初歩から学ぶGIからスタートしてGⅢ程度まで移る生徒は数多くいます。

本校がめざすものは、国際社会で活躍するための本物の英語力。特に最初からネイティブ並みの英語力をもつ生徒のためのGⅣの授業では、英語を教えるのではなく、ネイティブ教員が英語で時事問題や学術的な話題に取り組み方法を教えます。

### ■帰国生・英語入試入学生のための特別カリキュラム授業 ～6年間の流れ～

	入学時基準	中1	中2	中3	高1	高2	高3
GⅣ	英検2級程度以上	英語：5時間+EIS2時間 7時間のうち5時間はネイティブ教員、 2時間は日本人教員が担当			特別カリキュラム：3単位 ／総単位数：7単位 [特別カリキュラムはネイティブ教員]	特別カリキュラム：4単位 ／総単位数：6～10単位 [特別カリキュラムはネイティブ教員]	一般入試入学生と同じ 習熟度別授業： 6～9単位(※)
GⅢ	英検準2級程度	英語：5時間+EIS2時間 7時間のうち2時間はネイティブ教員、 5時間は日本人教員が担当			一般入試入学生と同じ 習熟度別授業：7単位	一般入試入学生と同じ 習熟度別授業：6～10単位	
GⅡ	英検3級程度	英語：5時間+EIS2時間 7時間のうち1時間はネイティブ教員と日本人教員のTT、 6時間は日本人教員が担当					
GⅠ	英語初學者レベル						

※高3で私立文系の場合、特別カリキュラム授業を3単位選択することができます(ネイティブ教員担当)。

### ■到達目標と授業内容

GⅣ	GⅢ	GⅡ・GⅠ
<p><b>[授業目標]</b> 国内トップ大学のみならず海外大学進学も視野に入れ、高校卒業時にCEFR C1レベル以上(英検1級レベル以上)の英語力を習得することを目標とします。</p> <p><b>[授業内容]</b> ネイティブ教員による5時間の授業ではケンブリッジ大学出版社のPREPARE4(CEFR B1レベル)を使用して、4技能5領域(「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」)の能力向上をめざします。日本人教員による2時間の授業では、文法を中心に授業を行います。中学修了までにPREPARE6(CEFR B2レベル)を終える予定です。</p>	<p><b>[授業目標]</b> 国内トップ大学の進学を視野に入れ、高校卒業時にCEFR B2レベル以上(英検準1級レベル以上)の英語力を習得することを目標とします。</p> <p><b>[授業内容]</b> 日本人教員による5時間の授業では、NEW CROWNを使って、文法・語法の確認と定着をめざします。ネイティブ教員のみによる2時間の授業(イングリッシュアイランドステイ)では、ケンブリッジ大学出版社のPREPARE3(CEFR A2レベル)を使用して、4技能5領域(「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」)の能力向上をめざします。中2修了時に、英検2級以上の取得を目標としており、中学修了までにPREPARE5(CEFR B1レベル)を終える予定です。</p>	<p><b>[授業目標]</b> 文法や語彙指導をおろそかにせず、着々と英語力を伸ばします。高校卒業時にCEFR B1レベル以上(英検2級～準1級レベル以上)の英語力を習得することを目標とします。</p> <p><b>[授業内容]</b> 日本人教員による5時間の授業では、NEW CROWNを使って、文法・語法の確認と定着をめざします。イングリッシュアイランドでの授業(2時間)では、ケンブリッジ大学出版社のPREPARE1を使用して、4技能5領域(「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」)の能力向上をめざします(1時間は日本人のみ、1時間はティームティーチング)。中学修了までにPREPARE3(CEFR A2レベル)を終える予定です。3級レベルの生徒は中2修了時に準2級、GⅠクラス4級レベルの生徒は中3修了時に準2級、初級レベルの生徒は中1修了時に4級の取得を目標としています。</p>

### ■英検スコア実績 ※2020年3月

	4級	3級	準2級	2級	準1級	1級
中1	161名	39名	22名	11名	5名	—
中2	73名	133名	53名	22名	7名	—
中3	22名	80名	109名	61名	5名	1名
高1	—	48名	98名	73名	6名	—
高2	—	28名	67名	114名	17名	1名
高3	—	33名	68名	117名	12名	1名

### ■CEFR対照表

CEFR	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定(1級～3級)	IELTS	TOEFL iBT
C2	200-230	—	8.5-9.0	—
C1	180-199	2600-3299	7.0-8.0	95-120
B2	160-179	2300-2599	5.5-6.5	72-94
B1	140-159	1950-2299	4.0-5.0	42-71
A2	120-139	1700-1949	—	—
A1	100-119	1400-1699	—	—

## イングリッシュアイランド (EI) とEI部

### —学内に海外環境を創り出す—

イングリッシュアイランド (EI) とはイギリスを模した街並みを校内に再現し、7名のネイティブ教員が常駐して、「イングリッシュアイランドステイ (EIS)」やさまざまな英語活動をサポートする施設。EI部は、このEIを自由に利用して、放課後の活動をする部活動です。EI部は学外のコンクールに出場することを奨励しており、帰国生・英語入試入学生はEI部に入部してネイティブからさまざまな指導を受けることができます。2019年度には、ECCホノルル市長杯全日本青少年英語弁論大会で高1生が準優勝、2020年度には、TIME CUP英語プレゼンテーション大会で高2生が優勝を果たしました。

## イングリッシュアイランドステイ (EIS)

### —中学生・毎週2時間—





ケンブリッジ大学出版社の教材を用いて、習熟度に合わせた授業を行います。ケンブリッジ英検の結果やケンブリッジ大学のコーパス研究などのビッグデータを基に作成しているテキスト (PREPARE) を使用します。他社の教材に比べ、使用頻度が高い語彙、学習者が間違えやすい項目などを意識して作成されている教材ですので、中学生の学習に最適な教材となっています。また、中1・2でケンブリッジ英検を受検することにより、到達レベルを世界基準で測るだけでなく、達成感と向上心を高めることができます。





## ENGLISH TEACHERS

### 帰国生・英語入試入学生を支えるイングリッシュアイランドの教員

★7月からもう一人、新しい先生が着任します。

	<p><b>Luke Yocum</b></p> <p>It is a pleasure to meet you! I am from America. I was born and raised in the southern state of Kentucky. In university, I primarily studied Asian culture, philosophy, and mathematics. I am especially looking forward to helping my students improve their reading and writing skills in class.</p>
	<p><b>David Anseline</b></p> <p>Hi, I can't wait to meet you! I grew up on an island called Mauritius, so I love the beach, swimming and hot weather. My favorite sport is soccer. I enjoy watching TV, movies and anime. My other hobbies are playing chess, travelling, singing and dancing. Lets' have lots of fun together.</p>
	<p><b>Kylie Buensuceso</b></p> <p>Hello, everyone! I am from the Philippines. Teaching is my passion. It is rewarding now to be able to teach at Yamawaki through the Japan Exchange Teaching Program. I am really enjoying myself at this prestigious school, in the company of hardworking teachers and diligent students.</p>
	<p><b>Toby Jones</b></p> <p>Hello! I am from the United Kingdom. A famous philosopher once said, 'The limits of my language are the limits of my thought.' I hope we will have a good time studying English together and that studying English will introduce you to new ways of thinking.</p>

	<p><b>Grant Robertson</b></p> <p>Nice to meet you! I come from the United Kingdom. I have been teaching in Japanese junior high schools for over fifteen years and I really enjoy helping students to improve their English skills, to grow as people, and to become part of the global community in the future. At Yamawaki, there are many opportunities for students to speak with the foreign teachers inside and outside class, at lunchtime or after school. We are highly motivated teachers, extremely friendly, and keen to help all students. Please enjoy talking to us in a relaxed atmosphere with amazing facilities and resources.</p>
---	---

	<p><b>Brenna Johnson</b></p> <p>Hi! I am from America. I attended Arizona State University to receive my undergraduate degree in linguistics. I moved to Japan in order to pursue my career as an English instructor. I hope to continue to expand my knowledge and gain more experience by working with wonderful students like you.</p>
---	---



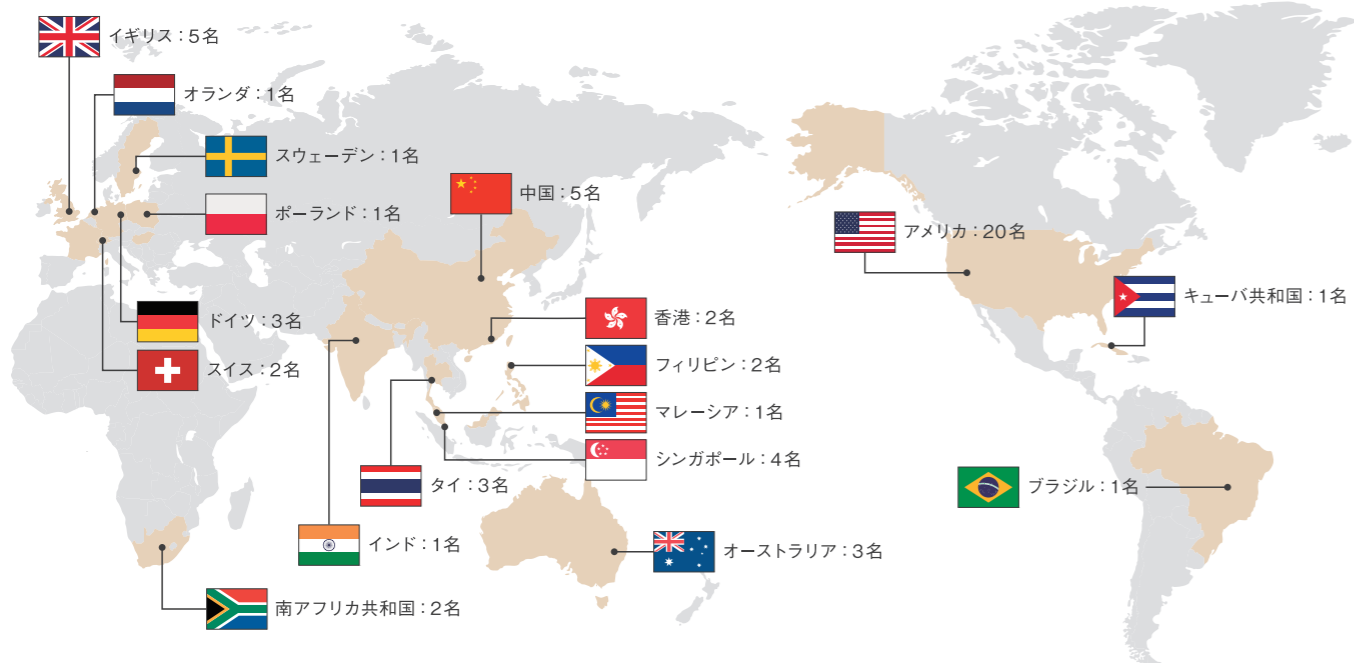
グローバル時代における協働を学ぶ

# クロスカルチャー・プログラム

## CROSS-CULTURE PROGRAM

グローバル化が進行する世界では、ビジネス・政治・経済・文化・国際協力など、さまざまな場面で共通言語としての英語を用いて、異なる文化背景をもつ者が協働することが求められます。本校では、世界各国で育った帰国生と英語入試で入学した生徒に対して、中1次に英語既習生クラスを設置。帰国生に対しさまざまなフォローアップを行います。2年次以降は、1つのクラスにまとめることはしませんが、英語の学力レベルに合わせた授業クラスに所属して、クロスカルチャー・プログラムで中心的な役割を担うことにより、学校全体のグローバル化を牽引しています。これらの学びを通して、文化の多様性を尊重し、多様な価値観を認める精神を育てます。

### ■ 海外帰国の在校生 [在外時滞在地域]



### ■ プログラム編成 ~多様なクラス編成の中に貫かれるクロスカルチャープログラム~



※中1次は約35名8クラス編成

## クロスカルチャー・プログラム

### 01 ロジカルスピーキング・トレーニング

帰国生入試や英語入試で入学した生徒が受講するGMV・GIIIレベルの授業で実施する、1対1のオンラインスピーキングトレーニングです。日本人は文章や話の内容を論理的に考えて積極的に発信するのが苦手と言われています。このトレーニングでは、日常的な英会話を行うのではなく、論理的に考え説明する能力の向上をめざして、訓練された外国人講師と1対1でトレーニングを実施。英語既習者の英検準1級取得を活性化させるため、中1~3の3年間で毎月1回程度訓練します。

### 02 Global Fellowship Program

このプログラムは、中3次「英語チャレンジクラス」の生徒が取り組むオンライン学校交流です。本校は、国連事務総長特別顧問としてSDGsを策定し牽引するジェフリー・サックス博士が主宰するCenter for Sustainable Development at Columbia Universityの認定を受けた、日本で初のSDGs partnerです。このプログラムではSDGsの課題や将来のキャリアについて、その解決と展望をアジア圏の同世代と考えるリサーチワークやディスカッションを行います。英語を母国語としないアジア圏の同世代と少人数のチームで交流を行うため、多くの日本人はその優秀さに大きな刺激を受けます。自身のキャリアに対する主体性や発信力を促進させ、異文化理解を深めるために、準備に多くの時間を割きます。

### 03 海外交換留学生の受け入れ

本校では外国人交換留学生の受け入れを行っており、2019年度は5家庭がホストファミリーとして、インドとドイツからの留学生を受け入れました。留学生が、英語と日本語で自国の文化についてのプレゼンテーションを行うなど、留学生とのさまざまな交流・活動により、校内で英語を使う機会を作り出しています。2020年度は、コロナ禍の中、インドネシアからの留学生を受け入れました。

### 04 海外の学校とのFace to Faceの交流

年2回程度、海外からの訪問団(中・高校生)を受け入れ、EI部・英語チャレンジプログラムクラスの生徒を中心に交流を行っています。2020年1月には中国から五雅高校の生徒約30名が本校に來校し、すべて英語で交流を行いました。こうしたFace to Faceの交流には、グローバル時代を生き抜く力強さを身につけるための大きな効果があります。



## 帰国生への教科フォローアップ

帰国生に向けて中1の1年間、国語の取り出し授業と放課後に理科・社会の予習講座を開設しています(希望制と指名制)。

## 中3の英語チャレンジプログラム

中3時に希望選択制で選ぶことができるプログラムで、2クラス編成されます。このプログラムでは、1年間、日本人とネイティブ教員2名が担任のクラスに所属します。そのため朝礼からランチ・終礼までのクラスの活動では、すべて英語を使用することをめざしています。放課後学習や校外学習でも、英語でのディスカッションなど、さまざまなプログラムにチャレンジします。そして3月には、全員でイギリス語学研修(※)に参加。1年間の総仕上げとしてホームステイをしながら現地です座学とフィールドワークを通してイギリスの文化を学び、英語の力をより一層高めます。なお、中3では「科学研究チャレンジプログラム」を選択し、理系への志を拓くこともできます。

(※) 新型コロナウイルスの流行により実施できなかった場合、高1・2で希望参加のプログラムを実施。





英語力を活かして国内難関大・海外大進学をめざす

# 海外大学と国内大学の併願進学指導

ACADEMIC GUIDANCE for FOREIGN & DOMESTIC UNIVERSITY



2021年度大学入試で82名が早慶上理に合格、202名がGMARCHに合格しています。帰国生・英語入試入学生はその英語力を活かして、国内難関大への合格を導くとともに、海外大学と併願することができます。

## ■ 海外大学協定校制度

本校は、UPAS (海外協定大学推薦制度) などの加盟校として、有利な条件でアメリカやカナダなどの大学に合格することができます。UPAS海外協定大学には返済不要の奨学金が給付される大学が多数あります。

さらに、2021年度からグローバル進学指定校推薦制度に加入する予定です。このプログラムには、奨学金保証進学と合格保証進学の2種類があります。前者は「北米大学 奨学金進学プログラム」を通して、返済不要の奨学金を獲得して北米の大学へ進学することが可能です。後者は協定大学の中から第3希望まで志望大学を選択し、本校の推薦を受けた上で申請すると協定大学のいずれかの大学への合格が保証されます。

## ■ 海外大学進学セミナー

海外大学進学の基礎知識から始まり、海外大学協定校制度の説明や、大学の紹介などを行う海外大学進学セミナーを年間10回ほど開催しており、中1から生徒・保護者で参加することができます。コロナ禍に配慮し、オンラインでも実施しています。また、本校から海外大学に進学した卒業生を招き、実体験を直接聞くことができるセミナーも開催しています。



## ■ 海外大学進学相談

希望があった場合、国際教育担当の教員が海外大学への進学相談を行います。

## ■ オンラインTOEFL講座・SAT講座

北米等の大学に進学する場合、キーポイントとなるTOEFL iBT試験。このテストでは、日本の英語検定試験とは異なり、海外の大学に進学した場合に必要とされるロジカルな思考法が問われます。本校ではTOEFL iBTで80点以上の得点をめざす英検2級以上の生徒を対象とした、オンラインTOEFL講座を開講(有料)。SAT講座と中学生向けのPSAT講座もオンラインで開講しています(有料)。

## ■ ボストン・ラセルカレッジ指定校推薦制度

本校は、アメリカ ボストン近郊にあるLasell Collegeと特別な関係をもっており、指定校推薦制度を使って進学することができます。また、12日間にわたるアメリカ大学留学体験プログラムをLasell Collegeのキャンパス内で行っています。

### 過去の海外大学進学者

- カリフォルニア大学ロサンゼルス校 ●カリフォルニア大学バークレー校 ●トロント大学 ●メルボルン大学 ●モナシュ大学 ●国立台湾大学 ●上海外国語大学 ●ニューヨーク州立大学オルバニー校 ●アーカンソー州立大学 ●カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 ●オレゴン大学 ●グリフィス大学 ●シトラス大学

## 留学・語学研修プログラム

本校では、短期(オーストラリア)・中期(ターム:オーストラリア)・長期(1年間:アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリア)の留学プログラムもっています。また、英語イメージウィーク、Y.G.E.P.など、校内でネイティブと活動を行う集中語学研修プログラムも実施。詳しくは別冊パンフレットをご覧ください。



## STUDENT INTERVIEW



自分に合うレベルで学べるので、  
どんどん力がついています

中学2年 | 星野りこ [英語入試で入学]

*Riko Hoshino*

インターナショナルスクールの幼稚園に通い、その後も英語を習っていたので、英語指導に力を入れている山脇に入学することを決めました。英語の授業は習熟度別で、自分に合ったレベルで学べるところが気に入っています。またハイレベルな友だちにも刺激を受けて、どんどん力が伸びているのを感じます。EISでは、グループに分かれて劇をすることもあり、楽しく学んでいます。世界のさまざまな民族や文化などを調べてみんなの前で発表する機会も多く、プレゼンテーション力もついてきました。目標は、高校を卒業するまでに日本語と同じくらい英語を話せるようになること。山脇で、将来幅広い分野で活躍できる力を身につけて、海外の人とも積極的に交流し、英語を活かした仕事がしたいと思っています。

## STUDENT INTERVIEW



オープンな雰囲気楽しく学び、  
英語力を伸ばすことができます

高校2年 | 市川莉子 [帰国生入試で入学]

*Riko Ichikawa*

小3から小6までアメリカのニューヨーク郊外で暮らし、現地校に通いました。山脇はネイティブの先生がたくさんいて、さまざまなプログラムがあり、英語を勉強しやすい環境が整っていると感じて入学を決意。ネイティブの先生の授業はオープンな雰囲気、質問しやすく、力がつくと実感します。みんなと意見交換をするディベートや、パワーポイントで資料を作ったり、動画を撮ったりして発表し合うプロジェクトの授業もとても楽しいです。すべて英語で行われるので、友だちの発言にも刺激を受けます。また、ネイティブの先生が常駐するEIでは、お昼休みにボードゲームをするなど、気軽にコミュニケーションをとることができます。今後も英語力をさらに伸ばし、将来につなげたいと思います。